

【研修会報告】

高知県助産師会総会 特別講演

「子どもに生きる力を～それぞれの立場で考える性教育」

R5年5月21日（日）男女共同参画センター「ソーレ」を会場にて、ハイブリット研修会を開催。講師に、福岡県立大学の松浦賢長教授をお招きし、学校における性に関する指導（性教育）が、生きる力の涵養を目的とした教育活動の一つであることを理解し、外部講師それぞれの専門性を活かした授業と評価ができるようになることを目的に講演をしていただきました。

性教育は、方法がとても重要であり、集団指導が多いが、知識を伝えても変わらない、内容については個別性があり、「子どもたちが、自分の問題としてとらえられるか」というところが、大事だとわかりました。

問題を抱えている子どもたちが、授業を受け、何かあったときに、頼れる場所があることを伝えることで希望になり、授業をきっかけに、学校で活用してもらえるような、計画が大事であることがわかりました。その結果が、子どもたちに生きる力を与える性教育に繋がっていくのだと、納得できました。

参加者は、会場に26名、ZOOM参加で35名、合計61名。

（助産師45名、保健師5名、教員4名、養護教諭5名、県教育委員会事務局2名）

たくさんの方に参加していただき、学び多い講演会となりました。

松浦先生、この度は、高知県助産師会のための、講演を快諾していただき、遠い高知まで足をお運びいただき、きめ細やかな講演をしていただき、本当にありがとうございました。

至らない点も多く、松浦先生をはじめ、参加の皆様には、ご迷惑をおかけいたしました。お詫びとともに、心より深く感謝申し上げます。

一般社団法人 高知県助産師会
研修会担当：宮地絵里